

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名	新 ぎふ木育指導者交流事業費
------------	------------------------------

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部恵みの森づくり推進課木育推進係 電話番号：058-272-1111 (内 3035)

E-mail： c11513@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 639 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	639	0	0	0	0	0	639	0	0
決定額	639	0	0	0	0	0	639	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

ぎふ木育を県全体に広く普及するためには、各地で活躍する指導者等が持つ多様な知見を活用し、効果的にぎふ木育を推進する必要がある。

そこで、県内各地で木育や自然体験活動を行う団体や指導者、森のようちえん団体やプレーパーク実践団体等を対象に交流会を開催し、連携を促進する。

(2) 事業内容

森のようちえん活動団体、保育園、幼稚園、自治体関係者などを対象とし、講演会や交流会を開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県が推進する「ぎふ木育」の発展に寄与することから、県負担とする。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	230	講師報償費
旅費	85	講師費用弁償及び業務旅費
消耗品費	50	交流会資材、事務用品
役務費	54	郵送料、電話料
保険料	20	イベント保険
委託費	200	会場設営費
合計	639	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画

ぎふ木育30年ビジョンの実現に向けた「ぎふ木育」の新たな展開

(2) 国・他県の状況

同様の事業は国に無い。

(3) 後年度の財政負担

清流の国ぎふ森林・環境基金の課税期間である令和8年度まで、税収に応じ事業を実施。

(4) 事業主体及びその妥当性

「ぎふ木育30年ビジョン」の実現に向け、県が実施することが妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/>	新規要求事業
<input type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 交流研修会を通じて、木育と自然体験活動を行う実践者の連携を促進し、多様な知見を活用しながら、県内各地で効果的にぎふ木育の普及を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R8)	
					達成率	
① ぎふ木育の新規取り組み実施件数（累計）	—	—	—	5	25	%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 各団体の活動における安全対策。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 効果的にぎふ木育を全県に広く普及するため、継続して交流事業を実施する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	【〇〇課】